

土木機械設備技術研修会の開催報告

(一社)日本建設機械施工協会中国支部では、事業推進の一環として11月19日(火)に「土木機械設備技術研修会」を開催しました。今回は国土交通省太田川河川事務所のご協力を頂き高瀬堰及び戸坂排水機場の施設を見学し、機械設備の保守点検に携わる会員から13名の参加を頂きました。なお、当研修会は、土木施工管理技士、RCCM、技術士資格取得者の継続学習制度等の学習プログラムとして認定を受け、

参加者に受講証を発行しております。



当日は、最初に太田川河川事務所の職員の方から高瀬堰及び戸坂排水機場の施設概要と、国の維持管理の状況について説明を頂いた後、設置後30～40年経過した設備の現場を視察し、老朽化が懸念される施設の維持管理の必要性や重要性等について認識を深めると共に、今後の「適切な維持管理のあり方」について意見交換を行いました。このような機械設備の維持管理にかかる本研修会は今回が初回であり、今後は、具体的な維持管理の方法等について研修の

内容を充実させ、今後の点検・整備のあり方や長寿命化に向けた手法を展開するための研修会を実施していく予定です。

なお、研修会の開催にあたり国土交通省の関係者の方々にはご協力誠に有り難うございました。

○研修日程(13時20分～16時30分)

1) 施設の概要説明：太田川河川事務所 施設管理課

- ①高瀬堰及び戸坂排水機場の施設について
- ②メンテナンスの実態(点検、整備の頻度等)について

2) 現地視察

- ①高瀬堰ゲート(昭和50年度竣工)
主ゲート・流量調節ゲート・魚道・船通しゲート
- ②戸坂排水機場(昭和45年度竣工)
横軸斜流ポンプ(1,500mmΦ)3台・補機一式・
総排水量15m³/min(5m³/min×3台)

3) 意見交換

- 活発な意見交換やアンケートにご協力いただきありがとうございました。今後の参考とさせていただきます。
- 施設の環境について特に関心のあった点(複数回答)



高瀬堰	<ul style="list-style-type: none"> ・塗装関係の改善 ・操作室が狭い、不安全 ・ギヤの保護について、特別に苦労されていた ・長寿命化の検討など ・常に水にさらされる施設の劣化が観察出来て良かった ・ワイヤロープ (グリス塗布がされていない様に見受けられた) 	戸坂排水機場	<ul style="list-style-type: none"> ・設備の老朽化 ・操作室、ポンプ室共に狭い、不安全 ・クラック、ポンプの配置間隔 ・普段目に触れない排水機場内のポンプ設備が更新され適切に管理されている
-----	---	--------	---